

くた まつ
山口県下松市



KUDAMATSU CITY

星ふるまちのトリセツ



2024

都市と自然のバランスのとれた 住みよさ日本一の星ふるまち

くだまつ
下松市という地名は、推古天皇の頃、わしずのしょうあおやぎのうら鷲頭庄青柳浦の松の木に大星（北辰星ともいわれている）が降り、七日七夜光輝き「百済の皇子がこの地へやって来る」というお告げがあったことに由来し、それから3年後、百済からやってきた皇子が後に山口を治めた大内氏の祖とされる琳聖太子りんしょうたいしといわれています。

このことから「星が降った松」が「降り松」、「下松」となったといわれています。

また、一説によれば、琳聖太子が渡来し、以来百済との交易が開けたことにより、百済と貿易する港（津）、百済津（くだらつ）がなまって「くだまつ」となり、「下松」と書きあらわすようになったともいわれています。

これらの言い伝えが継承され、暮らしの中に「星ふるまち下松」として息づいています。



《下松市民憲章》

わたくしたち 下松市民は
英知と 友愛と 勇気をもって

きまりを守り 明るいまちをつくる
花と緑を愛し 美しいまちをつくる
スポーツに親しみ 健やかなまちをつくる
生産に励み 豊かなまちをつくる
若い力を育て 伸びゆくまちをつくる



下松市

(2024年9月末)
面積: 89.34km² 総人口: 56,630人 総世帯数: 26,963世帯



市章
下松の「下」と笠戸湾の
静かな波を松葉で表現し、
丸くかたどった円は「和」を
表しています。



市民の花
「サルビア」



市の木
「ヤマモモ」

Greeting from the Mayor ごあいさつ

下松市は、瀬戸内海に面し、天然の良港を背景に大正時代から現在まで工業都市として幅広いものづくりが活発に行われてきました。近年では大型商業施設の相次ぐ出店により、商業や物流の拠点地域としても躍進を続けています。

また、自然豊かな山や海に囲まれ、活気ある「まち」と安らげる「さと」がコンパクトにまとまった「住みよいまち」として高く評価されています。

私は、先人が築いたわがまちのさらなる発展と住みよさ日本一を目指し、「市民力」、「地域力」、「産業力」を結集したオール下松で諸施策を展開しています。

本要覧により、下松市への理解を深めるとともに、魅力を感じ取っていただき、本市と関わるきっかけにいただければ幸いです。

下松市長 国井 益雄



住みよさが 評価される 下松市のNo.1



「住みよさランキング 2024」 山口県内1位、中国・四国エリア4位

東洋経済新報社が発表している「住みよさランキング」は、全国の市区を「安心度」「快適度」「利便度」「富裕度」の4つの視点から、さまざまな指標を用いてランキング付けしたものです。下松市は、2024年版の総合評価において、19年連続県内1位だけでなく、中国・四国エリアでも4位、全国812市区中31位(過去最高は令和3(2021)年の10位)と、高い評価を獲得しました。

住みよさランキング

東洋経済新報社「住みよさランキング」から

令和1(2019)年	令和2(2020)年	令和3(2021)年	令和4(2022)年	令和5(2023)年	令和6(2024)年
22位	33位	10位	13位	23位	31位



「街の住みこちランキング 2024」 5年連続で山口県内1位

大東建託株式会社が、リサーチ企業株式会社マクロミルの登録モニターに対してインターネット調査を実施し、居住地の満足度を調べた「街の住みこちランキング」において、下松市は県内19市町中、「生活利便性」「親しみやすさ」「賑わい」「物価家賃」の4項目で1位、「交通利便性」「行政サービス」の2項目で2位を獲得し、令和元(2019)年の調査開始以来、5年連続で県内1位となりました。

街の住みこちランキング 2024 〈山口県版〉

大東建託株式会社「街の住みこちランキング2024」から

順位	昨年順位	自治体名	偏差値	評点	生活利便性	交通利便性	行政サービス	静かさ治安	親しみやすさ	賑わい	物価家賃	防災
1位	1位	下松市	67.1	66.0	1位	2位	2位	7位	1位	1位	1位	3位



山口県内1位、中四国1位、全国37位の合計特殊出生率

全国的に少子化が進む中、下松市は1人の女性が産む子どもの数を示す合計特殊出生率が1.87人と県内1位です。この要因には、妊娠、出産から子育てまで一貫した市の支援策をはじめ、職場と住居が近く、家族と過ごす時間が多く取れることなど、子育てのしやすさが挙げられます。

令和4年12月末時点	下松市	山口県	国
合計特殊出生率	1.87	1.50	1.33

人口動態保健所・市区町村別統計から



山口県内1位の財政力

下松市は、鉄道、鉄鋼、造船などを中心とした臨海工業都市として発展し、経済産業省「経済構造実態調査(製造事業所調査)」では、製造品出荷額は3,500億円を超えています。この豊かな産業活動が高い財政力の支えとなり、財政力指数は県内1位です。

財政力指数が高いことは、財政が健全で安定していることを意味し、市民サービス向上や新たな公共事業への投資など、市民生活の質向上につながる施策を積極的に行うことが可能です。

また、企業にとっても魅力的な立地であり、地域経済の活性化に貢献しています。

順位	自治体名	財政力指数 (3ヵ年平均)	健全化判断比率 (単位:%)			
			実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率 (3ヵ年平均)	将来負担比率
1位	下松市	0.835	—	—	4.1	18.7

※山口県公表「市町財政関係指標(令和6年3月)」から



水道料金の安さは山口県内1位、全国4位

下松市には「温見ダム」と「末武川ダム(米泉湖)」の2つの県営ダムがあり、農業用水の確保、地域住民の生活用水や工業用水、さらには洪水調節など、多岐にわたる役割を担っています。この豊富な水資源により、県内で最も安価な水道水を供給し、全国でも4番目の安さを誇ります。

水道料金の安さは、家計への負担を軽減し、生活に潤いをもたらすとともに、市内への企業誘致を促進し、地域経済の活性化にも大きく寄与しています。

1カ月あたりの水道料金

全国平均

4,048円^{※1}

下松市平均

1,833円^{※2}

※1総務省統計局「家計調査年報(家計収支編)2023年(令和5年)」 ※2東洋経済新報社「住みよさランキング2024」から



末武川ダム

岩や土を積み重ねて作られた県内最大のロックフィルダム。自然環境との調和が図られています。



くだまつの水「星の泉」

豊富な水源を持つ市内の浄水場で採水したペットボトル水。軟水で飲みやすく安全でおいしい水です。

これらの指標により、下松市が
住みよいまちとして評価されています。

Interview / 下松市で新しい生活を始める

「もっと快適な場所で暮らしたい」「新しい場所で挑戦したい」「自分の手で何かを作りたい」そんな願いから、移住やUターンを検討した経験のある人は多いのではないのでしょうか。ここでは、実際に下松市に移住・Uターンを決断し、新たな生活をスタートさせた人たちへのインタビューを紹介します。それぞれの背景や移住の動機、そして現在の暮らしぶりを通して、移住を検討されている人だけでなく、新しいことに挑戦したいと考えている人にとっても、何かヒントが見つかるはずです。



Case 01 移住

【俳優】元木行哉さん

Profile
昭和44(1969)年生まれ、大阪府出身。19歳で俳優デビューし、TV、舞台、映画、CMなどで活躍。平成25(2013)年に映画の撮影で下松に初めて訪れ、平成31(2019)年に移住。はなぐり海水浴場と牛骨ラーメンをこよなく愛する。
<https://www.ikuya-motoki.com/>

人も自然も穏やかな、住み心地のよい環境

平成31(2019)年に東京から下松に移住し、山口県を拠点にドラマへの出演や番組のMCから映画・動画制作まで、多岐にわたって活躍する、俳優の元木行哉さん。下松との「縁」が生まれたのは平成25

(2013)年、映画「OYAKO」の撮影でした。「初めて笠戸島に訪れた時、なんてきれいな所なんだろうと感動しました。一発で好きになりましたね」と元木さん。映画の撮影終了後も、年に1回はイベントなどで下松へ定期的に訪れ、平成31(2019)年には親しいTVプロデューサーのオファーを受けて下松へ移住。「下松の魅力は、人も自然も穏やかな所です。東京から移住すると不便に感じないか、と聞かれることも多いですが、僕は一切不便だと思ったことはないですね。生活していく上で必要なものがほどよくそろっており、山も海も近く、商業施設もある。コンパクト



Kビジョン製作ドラマ「たべものがたり 元木食堂」撮影風景

なまちは住み心地も良いです」と話します。最近では、中学校の映画部のアドバイザーを務めるなど、若い世代へ映画作りの技術を伝える活動も行っている元木さん。映画制作を通じて下松の魅力为全国へ発信するため、心血を注いでいます。



ドラマ「たべものがたり 元木食堂」オールスタッフ



Case 02 就農

【農家】田中友紀さん(左)・結さん(右)

Profile
平成22(2010)年に東京から下松に移り住み、2人の子育て中。無農薬無肥料で多品目露地野菜を育て、「田中野菜」として野菜セットを販売中。
<https://tanakayasai.net>

大地の恵みと人の温もり 下松で育む自分たちらしい農業

無農薬無肥料で多品目の野菜を育てている田中さん夫婦。友紀さんはオーストラリアのオーガニックファームでのアルバイトがきっかけで農業に興味を持ち、結婚を機に、二人が住んでいた東京から結さんの出身地である下松に移住しました。最初は土地もなく、道具もクワとレイキのみ。手付かずの山や砂利の駐車場を開墾するところからのスタートでした。市職員の温かいサポートをはじめ、近所の農家さんには畑作りから食べ方の知恵まで教えてもらい、助けてくれる人が沢山いたことが農業をする上で大きな支えになったそうです。「自宅から見える美しい眺めが何よりの癒し」と話す二人。日々癒しの風景に囲まれながら、思い描いた農業に取り組んでいます。



野菜セット販売中



無農薬無肥料で育ったサツマイモ

『地方と全国』どちらも選べる 地方暮らしの働き方

大学を卒業後、大阪の印刷会社に勤めていたセキさん。東日本大震災をきっかけに地元で過ごしたいという想いが膨らみ帰郷。新潟出身のご主人にとっては移住という形になりました。会社勤めから次第にフリーランスという働き方を見出し、今や大手出版社からの仕事も続々!縁を生かした山口県の仕事と、ネット環境を生かした全国からの仕事の両方を良いバランスで手掛けています。「下松は海も山もきれいで暮らしやすく、子育てもしやすい環境。何より移住した夫がここでの生活を気に入っていることに、私も満足です」と話します。



自身の絵日記を1冊にまとめたZINE「週報のような手書きの記録」も発売。



セキさんがカバーイラストを手掛けた書籍。



【イラストレーター】セキサトコさん

Profile
大阪と山口で計7年の印刷会社勤務を経て、平成29(2017)年からフリーに。にぎやかにまとめる楽しいビジュアル表現が得意。広告・雑誌・書籍などで幅広く活動中。
<https://www.satokom-gallery.com/>

下松市民が語る まちの推しポイント

下松は生活環境が整っていて、過ごしやすい。それでいて、自然が身近に感じられるのも魅力です!



きれいな海とたくさんの自然があり、外で遊ぶのにぴったりの場所です。新鮮でおいしい魚も食べられるので、みんなにお勧めです。



国民宿舎大城でお風呂から望む夕日のロケーションや、近所の川で飛び交うホテルなど、好きな場所や風景がたくさんあります。牛骨ラーメンがイチオシです。



コンパクトにいろんな施設が整っていて、地域の人も優しく居心地がとていい。だからずっとこのまちに住み続けています。今は学生ですが、将来も下松市で働きたいです。



「住みよさランキング」でもよく上位に選ばれていますが、自分としても断トツに住みやすい場所だと思います。笠戸島アイランドトレイルや土曜夜市などのイベントもお勧めです。



コンパクトに住みよいまちです。海も山も近くでどちらの自然も楽しめるし、日常生活での便利さもある。公園や自然道も多く、散歩するのにも最適!ペットと暮らすのにもいいですよ。



【 Compact city 】

日常生活からレジャーまで、全てがそろうまち

コンパクトシティ下松

下松市の市街地は、自転車で回れる範囲に商業施設、医療機関、子育て支援施設、福祉施設などがあり、日々の生活に必要なものがそろい、あらゆる世代が住みやすいコンパクトシティです。さらに、スポーツ施設やレジャースポットなど、アクティブに過ごせる場所も充実し、市内で快適な暮らしを送ることができます。



01 下松タウンセンター「キラル」

下松タウンセンター「キラル」は、食料品店、衣料品店、雑貨店など、日々の暮らしに必要な専門店が軒を連ねるショッピングモールのほか、地域情報を発信するコミュニティFM局「しゅうなんFM」や最新映画を楽しめる映画館、コンサートやさまざまなイベントが開催される文化ホール、保健センターが併設されており、下松市を代表する、商業、文化、健康の拠点となる複合施設です。



さまざまなジャンルの専門店が集まる「星プラザ」



市民の健康づくりを担う「下松市保健センター」



最新の映画を大スクリーンで楽しめる「MOVIX周南」



さまざまなエンターテインメントが楽しめる「スターシアくだまつ」



02 くだまつ健康パーク

くだまつ健康パークは、心も体もリフレッシュできる複合レジャー施設です。夏にはウォータースライダーが併設された屋内プールで泳いだり、冬には屋内アイススケートリンクで爽快に滑ったりと、天候を問わず季節ならではの楽しみ方ができます。また、日頃の疲れを癒す広々とした天然温泉の大浴場やサウナ、美しい瀬戸内海を眺めながらプレーできるゴルフコースも完備。

一年を通して、家族連れやカップル、友人同士でさまざまなアクティビティが楽しめます。



日差しを気にせず楽しめる屋内プール



県内唯一の屋内アイススケートリンク



フェアウェイが広い本格シーサイドコース

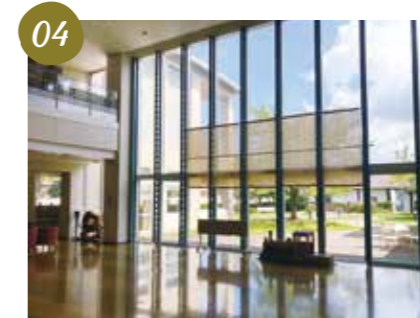


窓の外に瀬戸内海が広がる展望風呂



03 末武大通線(県道下松鹿野線)

平成11(1999)年に全線開通。大型商業施設や病院などの集積により、日常生活の利便性が高く、居住エリアとしても人気があります。



04 下松市地域交流センター

「ふくしの里」内にある、健康づくり、趣味活動、地域イベント、会議・研修など、幅広いニーズに対応した世代を超えて誰もが気軽に集えるコミュニティスペースです。



05 下松市農業公園

自然の仕組みや食料の大切さを学べる農業体験施設。農業の喜びや楽しさを知ることができる各種体験事業を実施しています。年2回開催する朝市は多くの人で賑わいます。



06 下松市立図書館

蔵書は250,000冊以上と豊富で、小説や歴史書、児童書など、さまざまなジャンルの本がそろっています。電子図書館システムを介した、電子書籍の貸出・閲覧ができます。



07 花岡バラ園

国道188号高架下にあるバラ園。地域の有志「花岡バラづくりの会」が、約400本ものさまざまな種類のバラを植えて育てています。毎年5月と10月頃が見頃です。



08 下松公園

多目的広場、テニスコートなどがあり、頂上にある「星の塔」からは市内を一望することができます。桜の名所としても知られ、満開になる春には多くの人で賑わいます。



09 滝ノ口河川公園

夏には涼しい川遊び、秋には絶景の紅葉など、四季を通じてさまざまな自然を楽しめます。市街地からも近く、リフレッシュしたいときに、気軽に行けるのも魅力です。



10 下松スポーツ公園

体育館などの施設を備えた総合スポーツ公園。ジョギングやウォーキングスポットとしても親しまれています。しだれ桜・コスモスなど花の名所としても有名です。



11 恋ヶ浜緑地公園

障害の有無に関わらず、全ての子どもたちが安全・安心・快適に遊べるユニバーサルデザインの公園としてインクルーシブ遊具も備え、令和7年春にリニューアルオープンします。

下松市の防災力

下松市の気候は、年間の日照時間が比較的長く、瀬戸内式気候のため、降水量も少なく温暖です。また、台風は九州や四国に上陸した後に弱まって接近することが多く、比較的風水害は少ない地域です。

市では災害時に迅速に対応し、安全安心を確保できるよう、民間事業者と災害時における協定を締結しています。また、自助、共助による地域防災力を高めるために、防災ガイドブックや各種ハザードマップの配布、自主防災組織の結成支援のほか、子どもたちへの防災教育や地域での出前講座を実施しています。



防災ガイドブック



自主防災組織



防災マップ



くだまつメール

下松暮らしを応援

下松市で暮らすための
支援制度がたくさんあります。



移住支援制度

○移住支援金

東京圏などから移住し、就業、創業、テレワークで一定の要件に該当する人に支援金を交付します。

2人以上の家族100万円／単身者60万円
18歳未満の子ども一人につき100万円加算

○やまぐちYY!ターン(UJIターン)パスポート

山口県への移住希望者にパスポートを交付しています。協賛企業にパスポートを提示すれば、移住前の下見などで訪問した際の宿泊代や移住時の引越料金などの割引が受けられます。



○YY!ターン支援交通費補助制度

山口県内での暮らし体験や移住ツアー参加のための往復交通費を補助します。

費用の1/2補助 ※上限あり



○相談窓口

東京
やまぐち暮らし東京支援センター
東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館8階
NPO法人ふるさと回帰支援センター内
電話／03-6273-4887
メール／yamaguchi@furusatokaiki.net
相談時間／10時～18時 ※月曜日、祝日、お盆・年末年始は休み

大阪
やまぐち暮らし大阪支援センター
大阪府大阪市北区梅田2-4-13阪神産経桜橋ビル2階
山口県大阪事務所内
電話／06-6341-0755
メール／u-turn-osaka@joby.jp
相談時間／9時30分～17時 ※土・日曜日、祝日、年末年始は休み

下松市
地域政策課広報戦略係（下松市役所4階②番窓口）
電話／0833-45-1802
メール／chiikiseisaku@city.kudamatsu.lg.jp

子育て支援



○不妊不育症治療の助成

不妊・不育症治療を受けている人を対象に治療費の一部を助成します。



○高校生年代までの子ども医療費無償

所得制限なしで医療費を助成します。

○くだまつ出産・子育て応援事業

妊娠期から全ての妊婦さんと子育て家庭に寄り添いながら支援します。また、出産、子育て応援ギフトを贈ります。



○第2子以降の保育料無償

所得制限なし、同時入所要件なしで、3歳未満の第2子以降の保育料が無償です。

○子育て支援センター

子育て中の親子と一緒に遊び交流できる場です。市内に4カ所あります。

○病児病後児保育

子どもが病気などにより保護者が家庭で保育できない場合に利用できます。



子育て支援パンフレット

ほかにも

創業支援

下松商工会議所や金融機関と連携し、創業開業を希望する人への支援をしています。

就農・漁業就業支援

関係機関と連携して、就農・漁業に関する相談や情報提供などにより支援します。

EVENT

四季折々楽しめる 下松市のイベント



くだまつ花と緑の祭典

花と緑につつまれたまちづくりを目指して開催される「くだまつ花と緑の祭典」。色とりどりの花々が咲き誇る華やかな会場は、子どもから高齢者まで多くの人で賑わいます。盆栽や山野草の展示を鑑賞したり、フラワーアレンジメント体験に参加したり、空くじなしの緑花お楽しみくじに挑戦したりと、さまざまなイベントを楽しむことができます。また、ステージイベントやおいしいグルメの出店で会場を盛り上げます。美しい花々に囲まれながら、ゆったりとした楽しい時間を過ごしませんか？



くだまつ土曜夜市

下松市の玄関口であるJR下松駅南口で、名称を変えながらも、星ふるまち下松の夏祭りとして50年以上続く夏の風物詩です。ステージイベントや地元中学生による体験ショップなど、多彩なコンテンツが楽しめます。当日は会場周辺が歩行者天国となり、キッチンカーや屋台がずらりと並び、地元の味から話題のグルメまで、さまざまな味が堪能できます。地域住民はもちろん、観光客も楽しめる活気あふれるイベントです。



稲穂祭 きつねの嫁入り

秋の実りに感謝し、毎年11月3日に開催される稲穂祭。旧山陽道をきつねの面をつけた新郎新婦が仲睦まじく並んで人力車に乗り、嫁入り道具を担いだお供や子ぎつねなど総勢500人を従え、華やかな行列を繰り広げます。約1kmの道のりを練り歩き、最後に三々九度の盃を交わします。新郎新婦役を誰が演じるかは、毎年秘密にされるのが習わしで、「行列に参加すると良縁に恵まれる」といわれる奇祭です。昭和25(1950)年から続く伝統ある祭りとして、毎年3万人以上の見物客で賑わいます。



くだまつ笠戸島アイランドトレイル

笠戸島全域を使った累積標高1,660mの、初心者から上級者まで楽しめるトレイルランニングイベント。「七浦七岬」と呼ばれる変化に富んだ海岸線や、「しま山100選」に選定された山、海の上を走る海上遊歩道など笠戸島の魅力が詰まったコースを全国のランナーが駆け抜けます。レベルに合わせてショートとロングの2つのコースが選べるのも魅力。雄大な自然を満喫しながら、自分自身の可能性に挑戦してみませんか？

※大会参加費の一部は、笠戸島の環境美化や登山道整備などに活用されます。

世界へ
誇れる
技術

ものづくりのまち 下松

下松市は、大正時代から工業都市として発展してきた歴史を持ち、現在では周南工業地域の中核として、鉄道車両や船舶などの輸送関係から、鉄鋼、半導体製造に係るハイテク産業まで、幅広い製造業が盛んな「ものづくりのまち」として知られています。ものづくりへの飽くなきチャレンジ精神と独自技術のたゆまぬ研鑽により、国内にとどまらず世界レベルの高い技術力を誇っています。



(株)日立製作所

(株)日立製作所は鉄道車両、駆動用制御装置をはじめ、列車運行管理システムや電力管理システム、情報サービスなどのフルラインナップのサービスを提供できる総合鉄道システムインテグレーターとして、重要なインフラである「鉄道」を支えています。

笠戸事業所では、新幹線などの各種電車、都市交通機関であるモノレールなどの鉄道車両を国内外向けに開発・製造しています。また、高精度な軽量アルミ車体「A-train」や最新のIT技術を駆使した車両情報制御システムなど、新たな製品・コンセプトも積極的に提案しています。

平成31(2019)年には鉄道事業者である国営台湾鉄道株式会社向け都市間特急車両EMU3000を受注し、全600両(12両×50編成)の車両を製造しました。



写真の車両は令和6(2024)年に最終出荷を終え、現在台湾全土を走行しています。

日立は鉄道事業においても、ITとOT(制御・運用技術)、プロダクトを活用するLumadaソリューションを通じて、社会が抱える課題を解決します。

世界でオンリーワンの素材メーカーを目指して

東洋鋼鈹(株)

昭和9(1934)年、材料や製品の海運に通じた立地と温暖な気候、まちを挙げての誘致により、民間初のぶりきメーカーとして東洋鋼鈹(株)下松事業所は誕生しました。以来、固有の圧延・表面処理・ラミネート技術を駆使して、高付加価値の表面処理鋼板を世の中に送り出してきました。



ハイベット缶

最近では、鉄鋼会社の枠にとどまることなく、非鉄のアルミニウムや樹脂を精密加工した機能材料、シリコン基板に特殊な表面処理を施した医療向け製品なども展開しています。

船舶の製造をグローバルに展開

(株)新笠戸ドック

大正7(1918)年に操業した、笠戸島に拠点を持つ造船会社です。

建造量日本一を誇る「今治造船グループ」の一員として、全長約200メートルのばら積み貨物船(麦・大豆・とうもろこし・石炭などを運ぶ船)を年間7~8隻建造しています。

また、自動車運搬船やタンカーなどの大型商船の改造・修理も行い、国内外の船主から信頼されるパートナーとして、効率的かつ安全な運航を全力でサポート。手掛けた船が、世界の海で活躍しています。



(株)日立ハイテク

(株)日立ハイテク笠戸地区は、半導体製造装置を開発・製造しており、高品質な製品、高精度なモノづくり技術が要求されます。令和7(2025)年4月に稼働する新製造棟では、生産ラインの自動化、環境に配慮したスマートファクトリーの実現をめざしています。



9000 シリーズ

海外での装置据付作業に従事し、平成10(1998)年から2年間米国に駐在。現在は作業主任として安全・品質管理を行いながら、若手への指導・育成に努めています。



(株)日立ハイテク 製造部 梶山 徹さん

ものづくりのまち

下松の礎を築いた

くはら ふさの すけ
久原 房之助



明治2(1869)年、萩市生まれ。明治・大正・昭和と活躍した実業家・政治家。

大正6(1917)年、陸海の交通の利便性、広大な土地、豊富な労働力が確保できるなど、多くの好条件から下松の沿岸地域に着目し、造船・製鉄業を中心とした世界的な工業都市の建設を目指した「下松大工業都市建設計画」を発表。

アメリカによる鉄鋼の輸出禁止により計画は中止になりましたが、久原が計画の一環として設立した日本汽船笠戸造船所は、造船から鉄道車両の生産に転換。現在では新幹線などの製造を行う日立製作所へと発展しました。

また、久原は現在の下松工業高等学校の創設に寄付するなど人材育成にも尽力し、「ものづくりのまち」下松の礎を築きました。

まだまだある ものづくりのまちを支える 下松の産業



ENEOS(株)下松事業所



住化アグロ製造(株)

新幹線の「顔」をつくる匠の技“打ち出し板金”

(株)山下工業所

(株)日立製作所の協力会社で新幹線の顔づくり60年の実績を持つ(株)山下工業所は、「打ち出し板金」という手仕事の技を駆使して、初代新幹線の先頭車両から最新のE8系まで20車種以上を製作しています。高い技術力と豊富な経験で半導体製造装置向け部品など、鉄道車両以外の幅広い分野にも対応しています。地域に根ざし、地域産業の発展にも貢献しており、経済産業省の「地域未来牽引企業」や「元気なモノづくり中小企業300社」に選定されるなど技術力と実績が高く評価されています。



E5系新幹線の先頭構体



打ち出し板金作業

道路を走る鉄道車両！ 見学プロジェクト



令和6(2024)年4月27日、全国でも珍しい屋間の鉄道車両の陸送を見ようと国内外から5万人が訪れました。地元で製造された車両が世界へと旅立つ姿は、子どもたちをはじめ、多くの人に夢と誇り、そして感動を与えました。

Treasure island

ぐるり 笠戸島探訪

本土と橋でつながる笠戸島は、島全体が瀬戸内海国立公園に指定され、変化に富んだ海岸線を持つ豊かな自然に恵まれた島です。キャンプ場や海水浴場なども整備され、家族連れや自然の中でアクティビティを楽しみたい人にもお勧めの観光スポットです。

Point

レンタサイクル

9 ひらめきパーク笠戸島内の観光協会案内所にて、ハイブリッドバイクや電動アシスト自転車、クロスバイクのレンタルを行っています。



料金表・WEB予約



7 島の学び舎

市内で発掘された土器や、地域の文化や産業に関する考古学・民族資料を数多く展示し、下松市の歴史と文化を学ぶことができます。



1 笠戸大橋

笠戸島へアクセスする絶景ロード

深紅の美しい姿から下松市のシンボルとして親しまれています。橋上からは、瀬戸内海の絶景を一望できます。夜には外灯に照らされた橋が水面に映り込み、幻想的な雰囲気を醸し出し、昼とはまた違った魅力を見せてくれます。

3 はなぐり海水浴場

家族や友人と 海のアクティビティを楽しめる

美しい白砂にエメラルドグリーンの海が輝く海水浴場。小さい子どもでも安心して遊べる浅瀬や、磯遊びができる岩場があり、魚釣りも楽しめます。



4 はなぐり海岸 海上プロムナード

海の上を歩く爽快感

波のようにうねる全長約300mの遊歩道が海上に伸びています。潮風を感じながら散歩する人、釣りを楽しむ人、美しい風景を写真に収める人など、さまざまな人が訪れます。



笠戸島ビュースポット



8 笠戸島家族旅行村

笠戸湾を一望できる丘の上にあり、オートキャンプ場やケビン、バーベキューガーデンを備えています。昼間は海と空の青さを、夕方は海に沈む夕日、夜はコンビナートの夜景が楽しめます。



9 ひらめきパーク笠戸島 (下松市栽培漁業センター)

日本最大級のタッチングプールでは、近海の魚介類と直接触れ合うことができます。下松市の特産品である「笠戸ひらめ」のエサやり体験も人気です。



10 潮風ガーデン

潮風に揺れる花の絨毯

笠戸島の穏やかな海と青空、そして美しい花のコラボレーションから「潮風ガーデン」と命名。春には河津桜と菜の花が、夏にはひまわりが咲き誇り、訪れる人を魅了します。

11 サイコロトイレ

海辺にたたずむ巨大なサイコロ!?

笠戸島を走る県道の終点に突如あらわれる巨大なサイコロ。その正体は、なんと公衆トイレ。サイコロの目が描かれたそのユニーク外観は、フォトスポットとして観光客にも人気です。



12 深浦海中鳥居

笠戸島のパワースポット!

サイコロトイレからほど近い厳島明神の鳥居。伝説では、安芸(広島県)の宮島とのゆかりもあり、毎年旧暦6月17日には海の安全を祈る十七夜管絃祭が行われます。



笠戸島ビュースポット

2 夕日岬

西日本屈指の夕日

美しい夕日が望めるお勧めスポット。海水の浸食によって形成された奇岩「はなぐり岩」とのコラボは絶景!特に冬場、水平線に沈む太陽が海を茜色に染める様子は感動的。



私のヒゲの長さは約70cmもあって、「プロペラひげ」と呼ばれていたんじや。



下松を見守る偉人像

5 外史公園

国民宿舎大城から徒歩2分の高台にある外史公園には、スキーと日本の航空の先駆者として知られる長岡外史の石像が建っています。

6 国民宿舎 大城

瀬戸内海の絶景と温泉が楽しめる

全室オーシャンビューの客室からは、美しい瀬戸内海を一望できます。名物の笠戸ひらめをはじめ、地元の新鮮な食材を使った料理を堪能できるレストランや、海を眺めながら入る天然温泉も魅力的です。



もっと下松を楽しみたい人はこちら!!



下松市観光協会

いくっちゃ!くだまつ観光ガイド

下松のグルメ

下松自慢の特産品の数々

下松市は、豊かな自然と歴史が育んだおいしいもの、米川ゆずといった土地の特性や気候を活かした農作物

がたくさん詰まったまちです。市を代表する特産品の笠戸ひらめや笠戸のとらふぐの養殖や、笠戸島レモン、来巻にんにく、を栽培しています。これらの特産品は、地元の名物料理やオリジナルブランド商品に活用されています。

かさど 笠戸ひらめ | 01

身が引き締まり、肉厚で脂ののったコリコリとした食感が特徴で、噛めば噛むほど旨みが口いっぱいに広がります。



コリコリとした食感!!

天ぷらもおすすめ!



ひらめ × とらふぐ

天然よりもおいしいと評判!
高級魚が一年中いつでも、リーズナブルに味わえる。笠戸島で培われた独自のノウハウで養殖された「ひらめ」と「とらふぐ」は、下松市自慢の逸品!!

オールシーズン食べられる!

冬季限定のとらふぐを



かさど 笠戸のとらふぐ | 02

特別な環境とエサで夏でも身が痩せず、プリプリとした食感。口に入れた瞬間に広がる上品な甘みと濃厚な旨みは絶品です。

03

下松牛骨ラーメン

さっぱりとした口当たりと、牛の旨みたっぷりの独自の甘みと香ばしさがあるスープが特徴的で、ご当地グルメとして愛されています。

いなり寿司と一緒に食べるのが下松流



たくさん集まるまち!!

牛骨ラーメンのお店が

全国でも数少ない



かさどしま 笠戸島レモン

笠戸島の温暖な気候と有機無農薬栽培で育てられ、通常のレモンよりも香りが強く、酸味も豊か。その爽やかな香りと、口いっぱいに広がるジューシーな果汁が特徴です。



くるまき 来巻にんにく

来巻地区の肥沃な土壌でじっくりと育てられ、大粒でみずみずしく、濃厚な風味が特徴です。まるごと焼いて食べてもよし、スタミナ料理のアクセントとしても料理を引き立ててくれます。



よねがわ 米川ゆず

山あいにある米川地区で昼夜の寒暖差がある中で育てられ、小ぶりながらも果汁がたっぷりで、種が少なく、爽やかな香りと酸味が特徴です。無農薬栽培のため、皮ごと安心して使えるのも魅力です。



笠戸島レモンリキュール
レモンの皮まで入り、すっきりとした苦みが特徴



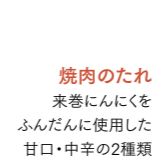
笠戸島レモンサイダー
レモン本来の酸味と甘みがギュッと凝縮



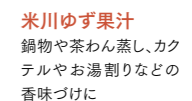
笠戸島はちみつレモン
レモンの爽やかな酸味と、ハチミツの濃厚な甘み



米川ゆずの焼き菓子
マドレーヌ・パンケーキ
爽やかなゆずの香りのおいしさの秘密



焼肉のたれ
来巻にんにくをふんだんに使用した甘口・中辛の2種類



米川ゆず果汁
鍋物や茶わん蒸し、カクテルやお湯割りなどの香味づけに



下松商工会議所セレクト 「こだわりの逸品～下松を贈ろう」

下松商工会議所は、地域資源に精通し、品質の高いオリジナル商品の開発にも取り組んでいます。お勧めのお土産や贈り物に最適な下松ならではの逸品を紹介します。



詳しくはこちら



【自宅へお届け】

ふるさと納税返礼品

地域ブランド「笠戸ひらめ」や「笠戸とらふぐ」、希少な「米川米」や「牛骨ラーメン」のほか、下松ならではの、魅力ある返礼品が満載です。



詳しくはこちら



歴史回覧 -history-



下松市は、豊かな自然と歴史が育んだ伝統文化が息づくまちです。古くから人々が暮らしてきたこの地には、天王森古墳や花岡八幡宮など、貴重な歴史遺産や文化財が数多く存在し、古代からの歴史を物語っています。また、稲穂祭などの伝統行事や、地域に伝わる歌舞伎など、地域特有の文化が根付いています。

天王森 -tennōmori-

天王森古墳出土埴輪

令和2(2020)年市街地からほど近い高台に位置する天王森古墳から山口県初出土品を含む西日本有数の形象埴輪群が出土しました。古墳は全長45mの前方後円墳で約1500年前の6世紀前半に築造されたと推測されています。平成29(2017)年には市指定史跡に登録されました。

出土した埴輪は、大阪府高槻市にある真の継体天皇陵ともいわれる今城塚古墳から出土したものと形状が酷似し、古墳の被葬者は当時の王権とも密接につながった実力者と見られています。

出土した埴輪や市内にある多くの遺跡、古墳は、古代から天然の良港を背景に発展してきた下松の住みよさを示す証拠として、今後の研究に期待が寄せられています。



大刀形



全長120cmで大刀形埴輪の全形復元は中四国・九州地方では初めてです。

大刀形埴輪には一般的に、柄の一部に鹿角(ろっかく)製の飾りが付いたものと、付かないものがあります。この埴輪は鹿角製の飾りが付いた大刀を模し、鞘に付いたヒレのようなものと線刻により、盾を表現しています。

巫女



髪型は、前後でゆったり折り返される島田髷(しまだまげ)風。衣装は、上衣が意須比(おすひ)といわれる袈裟状のものを右肩から下げ、襷(たすき)を掛けています。通常巫女は、下衣にスカート状の裳(も)を着用していますが、この埴輪は下側が円筒の半身像です。装飾品として、首にボタン状の粘土を貼り付け、ネックレスが表現されています。

家形



高さ約70cm、幅約80cmで大きな破風(はふ)を持つ切妻屋根を載せた家形埴輪です。天王森古墳からはこのほか、まったく形態が異なる家形埴輪が2棟以上出土。

花園大学の高橋克壽教授は、この埴輪について、「家畜小屋や厩舎(きゅうしゃ)などの施設で、被葬者が馬を所有していた可能性も考えられる」と解説しています。

花岡 -hanaoka-

花岡八幡宮

和銅2(709)年、大分県の宇佐八幡宮より分霊を勧請し、創建されたと伝えられています。大内義隆による社領の奉獻をはじめ、天下統一を成し遂げた豊臣秀吉も参拝するなど、数々の歴史人物から崇敬を集めてきた由緒ある神社です。勧請の際、一夜のうちに山が花で覆われたという伝説から、花岡八幡宮と名付けられました。宝物殿には、江戸時代の神事を描いた絵馬や、日本一の大きさとされる「破邪の御太刀」などが奉納されています。また、花岡八幡宮の九つの社坊のうち唯一現存する閼伽井坊の境内にある「多宝塔」は、国の重要文化財に指定されています。



閼伽井坊多宝塔 (国指定重要文化財)

藤原鎌足が創建したと伝えられる八幡宮日本十六塔の一つに数えられ、高さ約13メートルのこけら葺き屋根の建物です。下重が方形、上重が円形という独特の平面を持つ二重の塔で、頂上には相輪が備わっています。日本建築において、円形の平面を持つ塔は非常に珍しく最大の特徴と言えます。繊細な木組みによって、優美な姿を保っており、その美しさは多くの人を魅了しています。



破邪の御太刀 (市指定有形文化財)

安政6(1859)年、吉田松陰ら攘夷派の志士と志を共にする氏子たちが、「邪気を払い、平和な社会を築く」という願いを込めて奉納した大太刀です。全長4.65メートル、重量75キログラムと、日本刀としては最大級の大きさで知られています。通常は花岡八幡宮の宝物庫に保管されており、年に一度、稲穂祭(11月3日)の際に一般公開されます。



絵馬 (市指定有形民俗文化財)

縦1.83メートル、横3.84メートルの大きな絵馬に、寛政期の花岡八幡宮例祭における御神幸の様子が詳細に描かれています。山陽道の宿場町や町並、祭礼の奉納行事、演芸、風俗などが生き生きと表現されており、当時の様子を如実に伝える貴重な史料です。

下松市観光ボランティアガイドの会でツアーの事前予約すると、特別に見学することが出来ます。 TEL:0833-45-1541

宮ノ洲 -miyanosu-

宮ノ洲古墳出土鏡 (国指定重要文化財)

享和2(1802)年に砂州の上にあった宮ノ洲古墳から四面の銅鏡が出土しました。瀬戸内海沿いには同じような銅鏡が出土した古墳がいくつか存在し、瀬戸内海航路を重視していたヤマト王朝から、同盟関係の証として瀬戸内海の首長たちに配られたものだとされています。



三角縁神獸鏡

三角縁神獸鏡



出典: Col Base

三角縁盤龍鏡

内行花纹鏡

切山 -kiryama-

切山歌舞伎

切山地区に伝わる伝統的な歌舞伎です。江戸時代中期、地元の長重良が大坂で人形浄瑠璃や歌舞伎を見て感銘を受け、息子三四良を修行に出します。3年の修行の末、村に帰った三四良が若い衆に教え、宝暦7(1757)年の切山八幡宮秋祭で初めて上演したのが始まりとされています。以来、地元住民によって代々受け継がれ、現在では県の無形民俗文化財に登録され、切山歌舞伎保存会がその伝統を継承しています。



アクセス

✈ 飛行機でのアクセス

- ◎東京(羽田)から山口宇部空港
(約1時間35分)
→空港から車で約1時間
- ◎東京(羽田)から岩国錦帯橋空港
(約1時間30分)
→空港から車で約40分

🚢 船でのアクセス

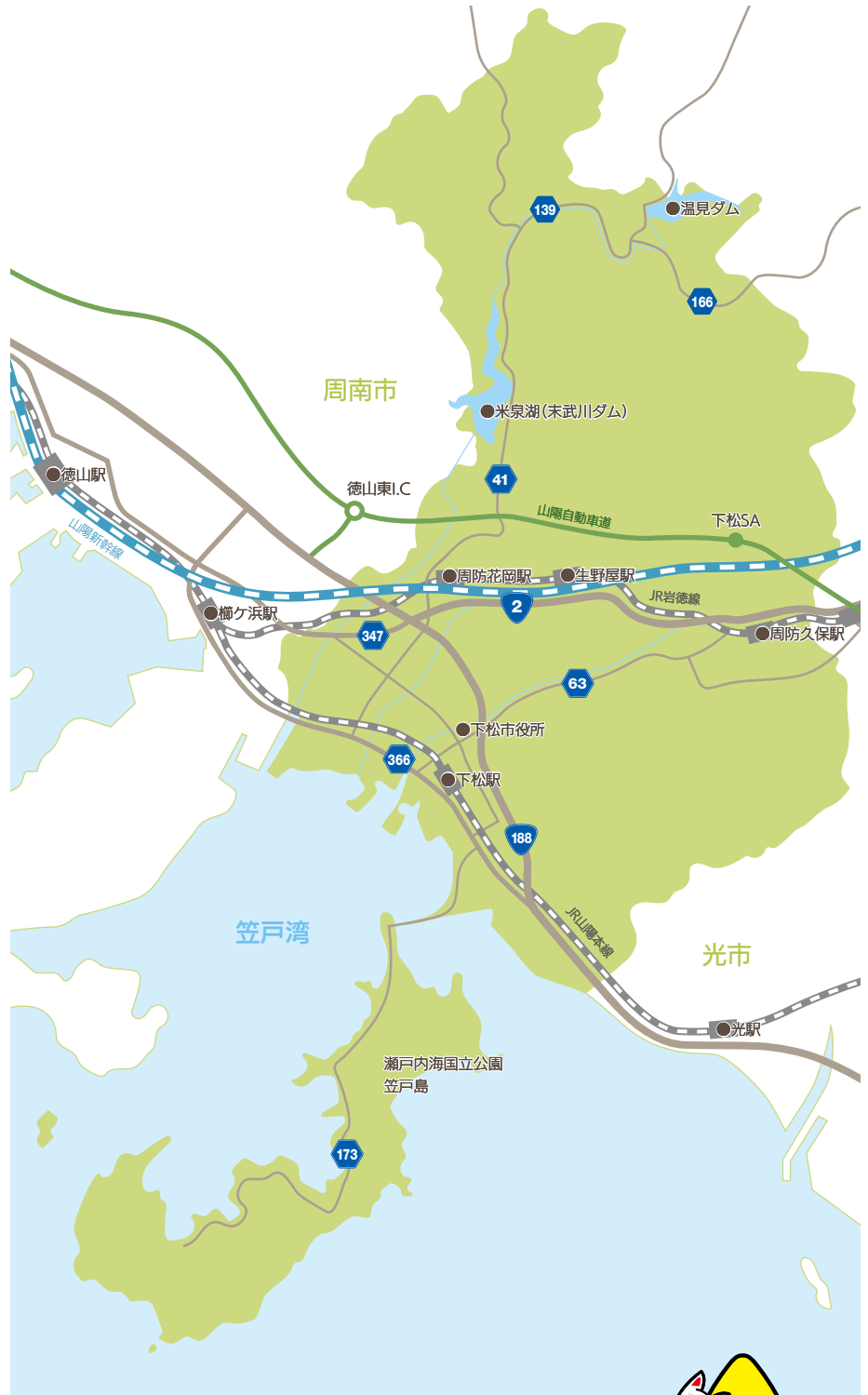
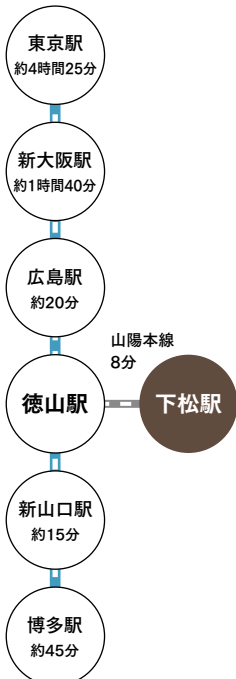
- ◎四国からお越しの場合は
三津浜港(愛媛県松山市)から
柳井港まで「防予フェリー」があります。
(乗船所要時間 2時間30分)
- ◎大分方面からお越しの場合は
竹田津港(大分県国東市)から
徳山港まで「スオーナダフェリー」が
あります。
(乗船所要時間 2時間)

🚗 車でのアクセス

- ◎山陽自動車道、徳山東I.Cから約10分
- ◎山陽自動車道、熊毛I.Cから約20分
- ◎柳井港から約40分
- ◎徳山駅からタクシー約15分
- ◎徳山駅からバス約25分

🚆 鉄道でのアクセス

- ◎JR山陽新幹線徳山駅下車、
JR山陽本線乗換え下松駅下車



下松市 市制施行85周年記念市勢要覧

発行:下松市
発行日:令和6年11月
〒744-8585 山口県下松市大手町三丁目3番3号
TEL:0833-45-1700(代表)
編集・印刷:(株)ふじたプリント社



下松市マスコットキャラクター
くだまる